

第575号



橋本公民館：長野県下伊那郡橋本村6664



発行日 2017年2月15日  
 発行責任者 橋本公民館 長 橋本 美穂  
 編集責任者 公民館 編集部 長 橋本 久志  
 印刷 龍共印刷株式会社

公民館楽遊塾 第六講座

アコーディオンクラブと歌おう

本年度楽遊塾最後の講座となる、「秋桜+1」の演奏に乗せて歌を歌おうが、一月十五日開催されました。当日は大寒波の厳しい寒さにも関わらず、沢山の人が参加してくださいました。

第一部は秋桜+1の演奏を聞いたり、アコーディオンの弾き方、操作によって音に変化がでるといったこと等、アコーディオンの事を詳しく教えていただきました。

演奏に感動し、涙する方もいらっしやいました。第二部では秋桜+1の演奏に合わせて皆で一緒に歌

四台のアコーディオンとオカリナという構成で、「百万本のバラ」、「コンドルは飛んで行く」等、どの曲も迫力があり情熱的な音色にオカリナの澄みきった美しい音色が重なり、圧倒的な



アコーディオンとオカリナのグループ「秋桜+1」



もちつき大会 & もち花づくり 学遊館広場

一月二十二日(日)、公民館学遊館で一月の学遊館広場が行われました。今回は「もちつき大会 & もち花づくり」ということで、伊久間のスリーAのみならず、昔からの小正月の行事であるもち花やまゆ玉作りを教えることができました。

まず最初に、「五穀豊穣」「無病息災」という願いが込められたもち花やまゆ玉の由来をお聞きし、用意して

改めて詞をよく理解することが出来ました。殺伐とした暗いニュースが多い昨今、心が明るくなる素晴らしいひとときでした。素晴らしい演奏をしてくださった秋桜+1の皆様にご感謝すると共に、寒波の中、沢山の皆様の御参加をいただき、無事楽遊塾第六講座を終えることが出来、感謝申し上げます。

来年度も魅力ある企画を用意しておりますので多くの皆様の御参加をお待ちしております。

改めまして、今回のもちつき大会 & もち花づくり、誠にありがとうございました。また、子どもさんよりもち米を頂きました。その後、まゆ玉用のもち米が蒸し上がるのを待つてみんなでもちつきです。

また、子どもさんよりもち米を頂きました。その後、まゆ玉用のもち米が蒸し上がるのを待つてみんなでもちつきです。

ただ、あまりに点ばかり苦にしてはよい子が育たない。いくら成績がよくても、わがままだったり気に入らないと感情を抑えられない様な子供が増えてきています。

椋鳩十ものがたり 44

『椋鳩十全集』掲載作品

椋鳩十顕彰会 久保田 毅

椋鳩十全集三

「山の大将」その七

昭和四十四年十一月

トモロコシやクリなど沢々と荒らされたので、権太の演説によって、部落総出でクマ狩りにとりかかります。

遠くで狩り犬の音が聞こえ始めました。クマの姿を見つけたようです。太郎は、「どうぞ、黒い星でありませぬように祈ります。」

ドドゥンと、むこうの峰でおこりました。…また一発ひびいてきました。犬のなき声は、近づいてきます。…あの谷を迫って来れば、この道を通るのです。

「狩り犬どもの声が、大きく、はつきりと聞こえてきました。『きたっ』…真っ白い雪の上を黒いやつがまっしぐらに谷間をめぐってかけてきます。『やっばり黒い星だつたな。さあこいせらう』という権

太は、銃をびたりとかたにあげました。…五、六匹の狩り犬は、とっしんしてきます。黒い星はその中にひびく、両手でパシッ、パシッとたたきつけます。

「やれやれ、黒い星！太郎はおもわずさげばります。『権太は…引き金に人さし指をかけた。春吉も…ねらいをつけた。』と、なんと思ったのか、太郎はけわしい岩山の斜面を、谷間めがけて、はあっとかけおりました。…太郎は走りながら、猟銃を空にむけてぶっぱなしました。その音に気付いて、黒い星は…さっさと、からだをかくしました。黒い星は、姿をかくしながら

ら逃げようとははじめます。太郎は、走りながら、そのようすを見て安心します。安心すると同時に、岩かどに足をとられて、ひっくりかえってしまいます。『あつ、助けてくれえい』というさげび声をのこすと、そのまま雪けむりをあげて、まっさかさまに、谷間めがけて、ころげおちていきました。

黒い星は、げながら太郎のさげびを聴きました。その場にくぎづけになったように立ちどまり、…ころげおちてくる人間をじっと見つめました。野獣のするどい目

は、それが太郎であることを認めました。太郎はドスゥンと落ちると、ウウンとうなつて気ぜつしてしまいます。『若かけからとびだしたら命があぶないぞ』と、野獣の本音が、黒い星によびかけました。

「そこに、ご主人の太郎がおるぞ」ともうひとつの、なにか知らないふしぎな力が、黒い星の心によびかけました。…に

「黒い星は、あちこちからひびきたる銃の音に、ふと夢

あの時

韓国では大学入試競争が加熱して、遅刻しそうな受験生を白バイで送るような映像が毎年報道されています。日本でもそこまでは行きませんが、まだまだ学歴に対する意識が強いことも事実です。

確かに学力も大切ですが、それがそのまま社会で認められるかという点ではありませぬ。それ以上に大切なのが人柄だと思ふのです。

特集 平成二十九年  
新春村長対談

平成二十九年一月六日、公民館編集部では役場庁舎二階の村長室に市瀬村長を訪ね、恒例の新春村長対談を行いました。お忙しい中お時間を取っていただき、これからの喬木村の施策についてお話しいただきました。



新年あけましておめでとうございます。恒例の編集部新春村長対談ということで、今年もお忙しい中お時間を取っていただきありがとうございます。リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の工事が動きだし、当村も大きな変革を迎えることが予想されますが、今後の施策についてお話しいただけますでしょうか。

①産業分野  
について

まず初めに、村の産業についてお聞きします。ただ、産業といっても範囲が広いのですがどうでしょうか？

産業については、なかなか絞り込むことは難しいのですが、まず農業の方から話をさせていただきます。村の中の平坦な所、それから農地も非常に少ない現状の中、その耕地を維持するだけの担い手もない、不耕作地もどんどん増えていく状況にあります。



編集部 村長室にて対談

これからの持続可能な農業を考えていくと、単収をいかに上げて儲かる農業への転換を図っていくのかが大きな課題になります。そこで今年から「農業に科学を」ということで土壌分析など、立命館大学の先生の教えているSOFIXの理論を使った新しい農業経営に取り組んでいます。喬木村については従来から施設園芸が非常に盛んなところで、皆さんご存知のイチゴや胡瓜などを栽培されている皆さんは、大規模農家に引けを取らない収益を上げていますので、この少ない耕地を生かした農業という点になると、喬木村の行く末はやはり施設園芸に頼っていかねばならないと思っております。

そのような中で、昨年は愛知県の農業生産法人に来ていただいたり、飯田市の企業が喬木村の農地約6haを集約して、その中で農業

②交通分野  
について

次に交通の面ではいかがでしょうか？

国の方も新しい道路の開設は終わったと位置付け、今の公共インフラの長寿命化を図るよう方針が変わってきています。

トンネルや橋は軒並み五十年以上経っていて、これを新しくするのは費用面でも大変ですから、いかに長く持たせようかという維持の方向へとシフトしています。

喬木村でも法面の吹き付けが劣化してきていて崩落を起こしたり、鉄骨で組み立てた橋梁を村道として使っていますが、腐食が進んでいて架け替えなければならぬなど、今年の予算だけでも一億円近い経費が維持補修にかかっています。そんな中、リニアと三遠

では、商業はいかがでしょうか？やはり働く場所が少ないという問題はありますか？

商工業分野でいうと、喬木村には大きな工場や会社もない中で、雇用の確保という観点からは企業誘致はどうしてもがんばっていかねばなりません。昨年からは本格的に振興対策として税の減免措置や、企業への特典を設けて何と



喬木村の航空写真にて説明いただきました

南信自動車道が控えていますので、喬木村においては本格的に始まるという状況です。

今年も、自動車学校前の交差点の改良や、富田の三遠南信道路のためのバイパス整備、通学路確保のために中学校から上平・富田方面

か誘致に繋がっていくという動きが始まっています。農工商連携の六次産業化がいわれていて、喬木村の商工会でも市田柿の皮を使ってタンニンを精製し、それで新しい製品を作りましょうというような動きも始まっていますので、こちらも支援をしていかなければならないと思っております。交流センターのNPOたかきもふるさと納税を核にした新しい製品開発にどん

の村道五十一号線の拡幅改良や歩道整備など、今年中に何とか手をつけていかなければなりません。役場周辺でも農協跡地の有効活用という面で、新しい村道新設により中央保育園と県道をつなぐ道を作る事業を本年中に計画しています。いずれにしても人の流れが上手に循環するような基幹道路の整備は村が考えていかなければならないと思っています。

一番大きな問題は、移動手段の確保です。少子高齢化ということで、一人暮らしのお年寄りや高齢者だけの世帯が増えてきて、二ユー

ふるさと納税のお礼品には農産物としてイチゴやりんごなど喬木村の観光の目玉になっているものも含まれていますが、いかがですか？

観光産業についてはイチゴ狩りだとか、りんごの木のオーナー園・くりん草・阿島の藤などが散発的な観光拠点となりますが、どうしても季節に限られてしま



三遠南信道 氏乗工事道路

をどうしても作っていかねければならないと思っております。去年からは下段にコミュニティバスの実証運行を行いながら、新しい路線の開拓を行っています。誰もが利用しやすいよう



富田 宮ノ前橋

### ③ 福祉分野 について

交通の面でも高齢者に対する施策の重要性が出てきましたが、福祉に関してはいかがでしょうか？

福祉のテーマも先程と同様に、高齢化が進む中でできる限り住み慣れた自分の家で暮らせるようにしたいと考えています。

そのためには、高齢になっても元気な方には支え手として地域での生活を維持していく仕組みを作っていく。昨年度から介護予防サポーター講座を社協と共催で開き、地域の中での助け合いの仕組みづくりに取り組んでいます。

また、大きな課題の一つに国民健康保険の運営があります。現在、国保の赤字に皆さんの税金を投入しながら維持していますが、平成三十年度から国保財政



介護予防サポーター講座の様子

の運営が県へ移ります。これは喬木村で何百万、何千万という高額な医療費が必要になると財政は破綻してしまいますが、運営が県という大きな財源になると、高額医療費がかかっても全体でカバーすることに

はなりません。しかしかかった費用は喬木村の保険料に反映されずから適正な保険料の算定は今年どうしてもやっつけなければなりません。

また、皆さんご承知のとおり特定健診の受診率はずっと県下一位というのが続いていて、できるだけ重症化する前に医療機関にかかりましょう、予防につなげましょう、ということに取り組んでいます。

医療費全体を抑えることが住民負担の軽減に繋がりますので、その取り組みをしっかりやっていかなければならないと思っています。

### ④ 教育分野 について

では続いて、ICTなど取り入れて力を入れている教育に関してはいかがでしょうか？

新年度はICT教育の実証事業の最終年度ということで、しっかりとした成果を出していかなければならないと思います。

小規模校では大勢で切磋琢磨することができないのですが、今やろうとしているのは小規模校でも普通の規模の学校の子もたちと交流することによって、物怖じしない子ども達を育てていきたいと思います。できるだけ大勢の意見を聞いて自分の考えをしっかり持つてもらい、小さな学校で学んでいるハンデを少しでも無くしていきたいと思います。

とで取り組んでいます。究極のICT教育の目標は、子ども一人ひとりの勉強に対する好奇心を引き出して、できるだけ広い視野にたつた学習活動につなげて、「将来日本を引っ張るんだぞ」、「世界の中で生きていくんだ」というグローバルな人間に育ってほしいと

あります。そんな中で中学校の子も達には一人一台のタブレット環境が整っていますので、中学校の先生には、子ども達は将来の進路を決める高校受験など控えているので、基礎学力の向上を図っていただきたいです。小学校の皆さんには、できるだけ今のうちから広い世界に目を

向けて、自分のやりたいものや、将来こんなことしたいなど、夢が広がるような活動に結び付けてほしいと思っています。



平成29年整備予定 多機能型施設イメージ図

### ⑤ 広域の連携 について

それでは次に、小さな村には欠かせない、近隣の町村との連携についてはどうお考えでしょうか？

四月から県の組織の改変により地方事務所がなくなり、「南信州地域振興局」に移管します。県庁に行かなくても全部を地域で解決できる組織として、知事が方向性を示しました。

今までは地方事務所が独自で使える予算は年に五十万円しかなく、全て県の承認をもらわなければ動かないお金でしたが、今度は南信州地域振興局になったことで、二〇〇万円位のお金は独自予算としてソフト事業に使えることになりました。

県の方も、地域の課題を地域の皆さんで解決していくような体制にしようという姿勢が変わってきています。

この地域は、どこよりも早く広域連合や定住自立圏を立ち上げており、今後の課題として、リニアを生かした地域振興をどう図っていくか、上伊那とも連携しながら「伊那谷自治体会議」が設置され、協議がなされているところでは、なぜ広域連携が必要かという、下伊那は四

月の香川県より面積が広く、この中に十六万人しか住んでいないのですが、その中に十四もの市町村がひしめき合っていて、大きなところは十万人の飯田市、小さいところは四〇〇人の平谷村まであります。

小さな我々のような村にとっては、自己完結型の経済圏がどうしても作れないので、お互いに手を取り合い無いた手を補完しながら、この地域全体が生き残っていくべきを考えていかなければならないという仕事をさせていたたいと思っています。

そんな中で、一番今まとまてやろうとしているのは介護と医療の問題や、知事の拠点整備事業として工業高校を使った新しい産業（信州大学のコンソーシアム）が四月から立ち上がります。この地域で起こしているという動きがあります。

そして今年「信州デザイン・イノベーションセンター」としてJRとタイアップし、長野県を全国に売り出していくという年です。全国各地に長野県のポスターが貼られることになるので、観光客をどう呼び込んでくるのか、これも一村一町だけではできないことなので、広域連携の中での活用方法があるのか検討していくことになっています。

それと、これからどんどん減っていく人口を何とか食い止めなければならぬ中で、都市部からの人口移動を促していくかなければなりません。二地域居住や移住促進という共通のテーマについては、南信州広域連合が一体となって活動していきましよう、という新たな動きが始まっていますので、自分たちの村だけでは何とかなないことについては、大きな連携組織の中

でお互いのことを考えながら取り組んでいかなければならないと思っています。地域連携というと、現在北部の五町村で火葬場の運営を行っています。それぞれの自治体でできればよいのですが、互いに助け合わなければならない部分については、近隣の町村と連携を取りながらやっていかなければと思っています。

また飯田下伊那全体の道路網の計画についても、うちの村はどうだろうとやっているとなかなか進まないで、これも大きな枠組み、大きな地図の上でどこにどうしても道が必要なんだというものは、全体として要求していくことが必要だと思っています。

何年たっても言っていることは変わりませんが「安心・安全・豊かな暮らしの実現に向けて一歩ずつ着実に前に進む」です。

伊那谷はこれからますます変化していくと思いますが、最後に市瀬村長に今年のスローガンを

お聞きします。

小さな村一つでは大変な火葬場などの大きな施設の運営、また焼却場が新しくできてごみ処理が楽になるなど、地域連携によって私たちの暮らしが良くなるようになっていくのは大変ありがたいことです。

本日はお忙しい中ありがとうございました。

本日はお忙しい中ありがとうございました。



昨年12月に行われたICT公開研究会 授業の様子

# 第29回 読書感想文コンクール 優秀賞作品

## 優秀賞

「かものひっこし」 理論社



喬木村立喬木第二小学校  
二年 塚平 妃奈乃

わたしも、なりたい

すごく、ど さんが、頭をつかって、ひな ぎどきしまし をまもったところが、すこ た。でも、と いたと思いました。

でもおもしろ かったです。 は、かものかあさんが、し とくに、かる にもものぐるいで、八わのひ がものかあさ なをたすけたことです。か

あさんが、ひな たちをむなげに くつつけて、と んでいったと き、はやぶさが、 かあさんがけい て、ぐんぐんせ まってきまし

ぜんぜんあきらめずに、ひ なをまもったことです。か あさんの、グツグツと いうなきごえで、ひなたち は、かあさんから一どには なれて、石つぶてのように、 おちていきました。わたし は、ここが、すごく、おも

よかったところは、はや ぶさがいなくなつてから、 かあさんがよぶと、八わの ひなたちが、金いろのはね をかがやかせながら、ほか けぶねのように、かるやか に、あつまつてくるところ です。

どんなにたいへんでも、 あきらめずに、頭をつかっ てかんがえて、子どもをせ んぶもつた、かるがもの かあさんは、えらいなあと思 います。わたしも、そんな おかあさんになりたいです。

## 優秀賞

「モモちゃんとかあね」 ポプラ社



豊丘村立豊丘南小学校  
三年 織田大原 歩

私が、むく んだだけで、すてきなお話 た。

はと十先生の お話を讀んだ のは「モモちゃんとかあね」 と思いましたが、 はじめで ですが、一ど読

同じ物、同じ時 に食べた事、ね る時も、いつも となりでねてい たので、姉妹の ように仲良し だったんだん なあと思いまし

それから、モモはいくら 自分の大好きな食べ物であつ ても、決してめすまない所 が、すごく頭がいいなあと思 いました。テーブルの上 にはある魚などは、ぬすんで はいけない事だと分かつてい いても、赤ちゃんが生まれ そうなミミのためにぬすん だという所も、お母さんの せきにんをもっているんだ なあと思いました。

それから、私が一番心に こつた場面は、モモがし んでしまった時の事です。体

力のげんかいたという事が 分かつていても、あかねを さいごに一ど見たくて、つ らいかいだんを上げていく くと気持ちがとでもすこ いと思えました。そして、 あかねとずっといっしよに いたかったモモの気持ちが つたわってきました。

さいごにしんでしまった 時、あかねの目からは、大 つぶのなみだをながしてい たので、たまたまはと場を さん歩して、オランダ 人にもらったネコが、あか

## 長月旬会

冬ぬくし子等の喚声風邪の中  
居眠りも幸ひの内三ヶ日  
大屋根に並ぶ日の影福雀  
初場所や木曾路湧き立つ御嶽海  
憂ひ事やがて溶け行く柚子湯かな  
凍て星や満蒙に散りし子の瞳  
ほんやりの目から火を吹く大達磨  
餅花に思いのこもる保育園

たかぎ俳句クラブ

田中 君子  
村上たか子  
松葉 孝子  
秦 恭子

雪積もる夜のしじまや古時計  
冬炬燵うつらうつらに母の夢  
孫が捏ね重ね上げたる鏡餅  
終ひ湯の柚子身に添へばいとほしく  
小正月過ぎて静かな家並かな  
百歳の人若々し初詣  
九条の墨痕凜と初明り

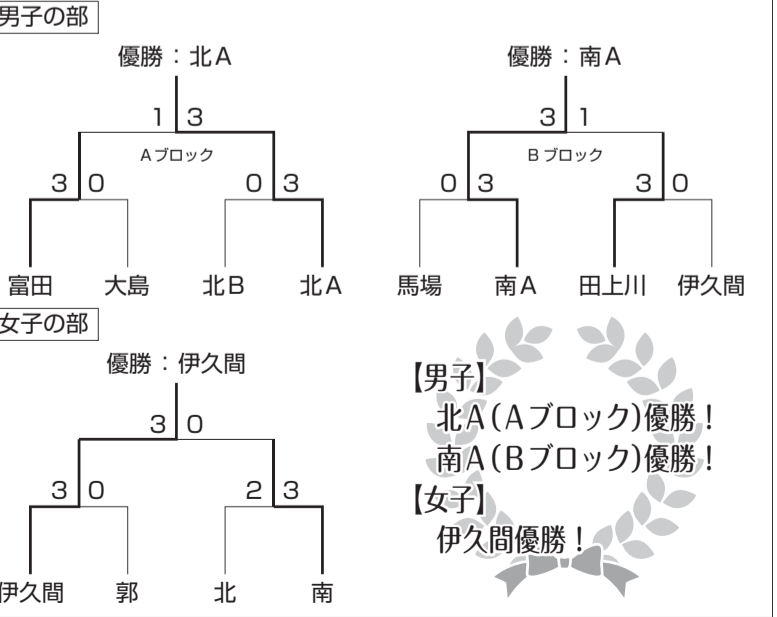
原 美恵  
砂場 文子  
松尾萬里子  
吉川てる子  
本山 栄信  
下平とみ子

## 平成28年度 分館对抗卓球大会

二月五日(日)、分館對抗卓球大会が中学校体育館を会場に行われました。男子は十四分館十七チーム、女子は九分館九チームが参加しました。

今回の卓球大会をもって、今年度すべての分館對抗卓球大会が終了となりました。ご参加いただいた皆様、各分館役員の皆様、体育部員の皆様のご協力に対し心より感謝申し上げます。

### 平成28年度 分館對抗卓球大会結果表



### 成人初心者教室を始めませんか?

喬木村公民館では学習意欲のある方を応援する施策として、「成人初心者教室」に対して支援を行っています。この事業は、始めてみたい習い事がある方のために、当初3年間は講師の方への謝礼の一部と、会員募集のお手伝いをするものです。お仲間同士でのサークル作りや、新たな仲間作りのきっかけとしてご活用ください。

※講師謝礼(3,000円/月)として補助を行い、期間は3年間です。

### 自主企画講座の募集

自主企画講座は「こんなことを学びたい!」「この人の話を是非聞いてみたい!」「施設を見学したい!」等、村民の皆さんが日ごろ抱いている学習要求の実現を応援する事業です。

村民の皆さん自ら企画立案し、講師の選定、折衝、講座の宣伝、当日の運営まで積極的に関わってもらい、公民館職員と共同で講座を進めていきます。

※講師謝礼(予算の範囲内)を補助。単発の講演会等でも可

詳しくは喬木村公民館までお問い合わせください。  
☎33-2002

### 編集後記

私は左利き。でも普段ほとんど気づかれない。箸とペンは右を使うからだ。現在、利き手を直すことはほぼ無いようで、お店にも左利きグッズが並んでいる。ところが、左を使う時も右利き用を使う癖があるため左用が逆に使えづらい。勿論左用があればというものもある。その一つがミシン。誰か作ってくれないかと密かに思っている。